

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

しゅっすいき

いよいよ出水期に突入！！

今年も6月に入りました。日本では一般的に6月～10月頃までを出水期と呼び、梅雨や台風等の災害が多い期間になります。

本市において、去年(令和6年)は比較的、警報等の発令が少ない年でしたが、近年、全国的に集中豪雨等の被害が多発しております。

他人事と思わずに、しっかりと備えを行って乗り切りましょう。

そのためにも市民の皆様には「大和郡山市総合防災マップ」でご自身のお住いの地域の浸水危険度を把握していただき、普段から災害について考える習慣をつけていきましょう。

空き家の適切な管理をお願いします！

近年、全国的に管理不全状態にある空き家が問題になっています。本市においても他人事ではなく、年々相談件数が増加しており、対応に苦慮しております。特に春から秋にかけて、自治会や近隣住民から苦情や通報、問い合わせが多く寄せられます。その多くは空き家の庭の樹木や草の繁茂によるものですが、大雨や台風の影響で屋根瓦の落下や建物の崩壊等が実際に発生しています。

空き家の管理は所有者(所有者がなくなっているときは相続人)の責任です。近隣住民の生命や財産の損害を与えないよう、適切に管理していただきますようお願いいたします。

ナラ・シェイクアウトを実施します！

令和7年7月9日(水)10:30～ ナラ・シェイクアウト訓練を実施します。その際に訓練としてエリアメール(緊急速報メール)の発信を行いますので、スマートフォンにお知らせ音が鳴ります。この機会にシェイクアウトの基本「①低い姿勢②頭を守る③動かない」を実践してみてください。また自治会等でも各班で一時避難所まで集合してみるなど、地域の避難訓練などに活用ください。

「自主防災組織」と「消防団」防災のつどい

毎年恒例の「自主防災組織」と「消防団」防災のつどいを 5 月に開催しました。今年は開催 10 回目になります。地区ごとに 4 回にわけて自主防災役員 146 名 139 組織と消防団長、副団長、各地域の分団長の参加があり、活発なご意見、ご質疑をいただく有意義な会合となりました。

中尾消防団長の挨拶の後、市から消防団や防災に関する説明を行いました。大和郡山消防署予防課から 2 名の署員に来ていただき、災害時の火災防止についてお話してくれました。特に皆さんが興味を示したものは「感震ブレーカー」です。今後、各家庭へ普及させていき、災害時の火災発生を地域で防いでいきましょう。

また今年度の新たな試みとして、地域と消防団の「顔の見える関係」の構築のため、各分団長と所属の自主防災組織との名刺交換を行いました。さらに材木町自主防災組織の会長にお願いをし、計 4 回すべての会において、材木町自主防災組織の活動報告を行ってもらいました。参加していただいた他の自主防災組織の方にとって有意義な話となり好評でした。ぜひ、自身の自主防災組織の中で活かせるところは活かしてもらい、「共助力」を向上していきましょう！
ご多忙の中、たくさんのご出席ありがとうございました。

<編集後記>

1875 年(明治 8 年)6 月 1 日に気象庁の前身である東京気象台が業務を始めて 150 年になります。当時は「天気予報」ではなく「天気予考」として発表されました。「予め(あらかじめ)考える」私たちも災害について予考していきましょう。

自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

少人数でも訪問します。災害対策課までご相談ください。

このニュースは、災害対策課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます。

大和郡山防災ニュース	🔍	検索
------------	---	----

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください。

大和郡山市消防団へようこそ	🔍	検索
---------------	---	----